

テクトロニクス、最新の IEEE 802.11 無線 LAN テスト・ソリューションを発表

ミックスド・ドメイン・オシロスコープ、リアルタイム・スペクトラム・アナライザ、解析ソフトウェアなどのアップグレードにより、無線 LAN 組込みシステムの設計課題の解決が容易に

テクトロニクス(代表取締役 米山 不器)は、本日、ミックスド・ドメイン・オシロスコープ、リアルタイム・スペクトラム・アナライザ、パフォーマンス・オシロスコープ、解析ソフトウェアを強化し、最新の無線 LAN 規格に対応した新たなテスト・ソリューションを発表します。今回のソリューションによって、IEEE 802.11 a/b/g/j/n/p/ac 無線 LAN 機能の統合を効率的に行いたい設計エンジニアを強力に、かつリーズナブルな価格で支援することが可能になります。このソリューションは、家電製品から産業機器まで、増え続ける無線 LAN 機能を内蔵した機器設計の効率化を実現します。

新しい無線 LAN テスト・ソリューションは IEEE 802.11 a/b/g/j/n/p/ac のテスト/デバッグにおいて、業界で最も高い付加価値と使いやすさを提供します。さらに、テクトロニクスはその新しい製品ラインアップとソフトウェア・ソリューションにおいて、次のような無線、RF テスト・アプリケーション向けの大幅な機能強化を実施します。

- スペクトラム・アナライザ性能を大幅に向上し、医療、自動車から家電、民生機器まで、さまざまな分野で急速に普及する無線アプリケーションに最適なミックスド・ドメイン・オシロスコープである [MDO4000B](#) シリーズを発表します。ミックスド・ドメイン・オシロスコープは、テクトロニクスが提供する、世界初、唯一のスペアナ統合オシロスコープであり、1 台の計測器でアナログ信号、デジタル信号、RF 信号を、時間相関をとりながら取込むことができます(詳細については MDO4000B シリーズの [プレス・リリース](#) をご覧ください)。
- 今回発表するもう一つの新製品 RSA5000B シリーズは、165MHz のリアルタイム取込帯域幅と、クラス最高の信号捕捉性能を持ちます。2.8 マイクロ秒持続する信号であれば 100% の信号捕捉確率 (POI) を実現します。この拡張された帯域幅は、高速な IEEE 802.11ac 信号など、さまざまなアプリケーションのテストで必要になります(詳細については、RSA5000B シリーズの [プレス・リリース](#) をご覧ください)。

- [SignalVu-PC](#)ソフトウェアの新しいオプションでは、MDO4000B シリーズとのライブ・リンク機能と、IEEE 802.11 a/b/g/j/n/p/ac の送信波形の変調解析をサポートしています。
- RSA5000B、RSA6000 シリーズ・スペクトラム・アナライザの新しいオプションでは、IEEE 802.11 a/b/g/j/n/p/ac の送信波形の変調解析をサポートします。
- [MDO/DPO70000](#)シリーズ、[DPO7000](#)シリーズ・オシロスコープにおいて、無線 LAN をサポートするための機能が SignalVu®オプションに追加されます。

テクトロニクスは、スペアナ統合オシロスコープによって無線 LAN テスト・ソリューションを提供する業界で唯一のメーカーとなりました。エンジニアの多くは、組込み設計におけるアナログ／デジタル回路のデバッグにオシロスコープを使用しますが、無線 LAN や RF のテスト機器の操作経験のあるエンジニアの数は圧倒的に不足しています。ミックスド・ドメイン・オシロスコープの新製品、MDO4000B シリーズを使用することで、1 台の計測器でデジタル信号、ベースバンド信号、RF 信号の検証、デバッグが行えます。複数の計測器を使用する場合に比べて低コストであるばかりでなく、操作が容易で、効率的な設計プロセスの導入によりエンジニア不足の解決につながります。

テクトロニクス、ソース・アナライザ・プロダクト・ライン、ジェネラル・マネージャの Jim McGillivray は、次のように述べています。「インターネットの普及に伴い、数多くの製品が無線 LAN を組込むようになっていますが、どの製品もコンプライアンス・テストに合格しなければなりません。製品のライフサイクルのすべての段階において、無線 LAN テスト・ソリューションを必要とする大きな市場が存在します。テクトロニクスは、より優れた操作性と、既存のソリューションに比べてほぼ半分のコストでこのニーズに応えます」

低コスト実現の一例としては、MDO4000B シリーズと SignalVu-PC ソフトウェアのライブ・リンク機能があります。専用の計測器を別々に使用するのではなく、MDO4000B シリーズを使用することでベクトル・シグナル・アナライザ機能を 1 台の計測器と PC で実現し、パルス測定、スペクトル解析／変調解析、表示が行えます。ライブ・アップデート機能は測定データの転送を自動で行い、PC 上で連続的に解析結果をアップデートします。このソリューションは、業界トップクラスの取込帯域幅(最低 1GHz)性能と優れた信号品質を備えています。また無線 LAN 測定用のプリセット機能により、機器をすばやく、簡単に設定できます。

販売開始 11月20日より

ソリューション価格例

802.11ac 解析ソリューション	459万8千円(税抜)より
(構成) MDO4054B-6 型ミックスド・ドメイン・オシロスコープ	288万円(税抜)
(周波数帯域 500MHz、RF 周波数幅 9KHz-6GHz)	
SignalVu-PC-SVE ベクトル・シグナル解析ソフトウェア	23万8千円(税抜)
SignalVu-PC-SVE option.SV2C	148万円(税抜)
(SignalVu-PC ライブ・リンク機能搭載 IEEE802.11ac 測定用オプション)	

テクトロニクスについて

テクトロニクスは、計測およびモニタリング機器メーカーとして、世界の通信、コンピュータ、半導体、デジタル家電、放送、自動車業界向けに計測ソリューションを提供しています。65年以上にわたる信頼と実績に基づき、お客様が、世界規模の次世代通信技術や先端技術の開発、設計、構築、ならびに管理をより良く行えるよう支援しています。米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、現在世界22カ国で事業を展開しています。詳しくはウェブサイト(www.tektronix.com/ja)をご覧ください。

テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter ([@tektronix_jp](https://twitter.com/tektronix_jp))

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan>)

お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL <http://www.tektronix.com/ja>

報道関係者からのお問い合わせ先
テクトロニクス 広報室 瀬戸
電話:03(6714)3097 Fax:03(6714)3667
Email: seto.atsuko@tektronix.com

Tektronix、テクトロニクス、SignalVu は Tektronix, Inc.の登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。